

三次郷心会見学会を実施 -

マツダミュージアム・おりづるタワー見学

3月20日(月)、三次郷心会の見学会を39名の参加のもと実施しました。今回は、「マツダミュージアム・おりづるタワー」を見学しました。

マツダミュージアムでは、1920年代からのマツダの歴史を感じさせる名車を観て、皆さん大変懐かしく、昔を思い出されていました。また、U1組立ラインでは、目の前で次々とクルマが組み立てられていく迫力のある様子をじっくりご覧になっていました。

おりづるタワーでは、周囲をメッシュで覆われたウッドデッキの屋上展望台で広島の風を感じながら、平和記念公園、原爆ドームを望み、12階のおりづる広場では、「おりづるの壁」からおりづるを投入され、回りながら落ちていくおりづるに感激されていました。

天候にも恵まれ、参加された皆さんは大変満足され、最高の思い出となる一日になりました。



さくら祭りにてマツダ車を展示

4月3日(日)、尾関山にて開催された三次さくら祭には、三次郷心会からも販社様の協力を得て、県内製品であるマツダ車の展示を行いました。

尾関山の桜は残念ながらツボミ。展示したのは清心池の前にマツダロードスターRFと新型CX-5、CX-3の3台。3車種ともソウルレッドの外販色で、特にマツダのブランドアイコンであるマツダロードスターRFの自動開閉のルーフには多くの方から注目を集めていました。

三次郷心会では地域の催しにも積極的にに関わり、地域の盛り上げに微力ながら貢献してまいりたいと考えています。



<お知らせ>

毎年開催しておりましたカーブ観戦ですが、昨年のセ・リーグペナントレース優勝もあってか、昨年より一層チケットの入手が困難となり、今年の観戦を断念せざるおえなくなりました。球団に直接お願いをしておりましたが、願いは叶いませんでした。

現在は、全国的にカーブ人気が高く、多くの方がチケットを手に入れたくても入手困難ほどの人気ぶりです。しかしながら過去、弱小時代から郷土のチームとしてカーブ応援ツアーを実施し、多くの会員様の参加を得て、これまで続けてくることができましたこと、改めてお礼申し上げます。

本年は、観戦ツアーはかないませんが、来年以降も、続けたいと思っております。カーブ人気が高くなったことは非常に喜ばしいことですし、それだけに観戦したいという会員各位の期待があることは重々承知しておりますが、観戦ツアーの前提は、チケット入手次第になりますこと、ご承知いただきたく存じます。

上記にかかわらずこれからも郷心会活動、マツダ車をこれまで通りご支援を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

マツダ、先進安全技術「i-ACTIVSENSE」の標準装備化を発表

さらに多くの皆様へ、より安全、安心なクルマを提供

マツダ株式会社(以下マツダ)は、日本国内で販売するほぼすべての新世代商品を対象に、先進安全技術「i-ACTIVSENSE」(アイ・アクティブセンス)の標準装備化を2017年度中に行うことを発表しました。

「i-ACTIVSENSE」は2012年の導入以来、多くのお客さまからお選びいただいております。今回最量販モデルである「マツダデミオ」を含むほぼすべての新世代商品で標準装備とします。この取り組みは、運転初心者から高齢者まで、さらに多くのお客さまへ、より安全、安心なクルマをお届けするためのものです。

今回標準化する装備は、日常で起こり得る事故の未然防止と被害軽減を目的とした『衝突被害軽減ブレーキ』、オートマチック車のペダル踏み間違いによる事故を軽減する『AT誤発進抑制制御』、車線変更時に斜め後方に存在する車両を知らせる『BSM(ブラインド・スポット・モニタリング)』、駐車場などでの後退時に横から近づく車両を検知し接触の危険を知らせる『RCTA(リア・クロス・トラフィック・アラート)』です。

また、マツダは今回標準化する装備以外にも、夜間や長距離走行など、様々なお客様の使用形態に合わせた装備をすでに実用化しており、夜間の運転視界を確保するために配光を自動で最適状態に制御するヘッドライトや、中高速走行時にも作動可能な衝突被害軽減ブレーキ、車線逸脱警報システムといった先進安全技術を、ほぼすべての新世代商品でグレード別選択、またはメーカーオプションで選択いただけるようにしています。

■2017年度に標準装備化予定の先進安全技術一覧

衝突回避支援・被害軽減技術	衝突被害軽減ブレーキ	市街地などを低速～中速で走行中に、前後方向の車両などの障害物と衝突の危険性がある場合、自動ブレーキにより減速・停止し、衝突回避または被害軽減を図ります。
	AT誤発進抑制制御	徐行時や停車時、前方または後方に障害物が検知された状態で、必要以上にアクセルを踏み込んだ場合、警告音とメーター表示でドライバーに注意を促すとともに、エンジン出力を抑え急発進を抑制します。
認知支援技術	BSM(ブラインド・スポット・モニタリング)	隣車線上の側方および後方から接近する車両を検知すると、インジケーターが点灯しドライバーに通知。その状態でウインカーを操作するとインジケーターの点滅と警報音で警告し、車線変更の中断を促します。
	RCTA(リア・クロス・トラフィック・アラート)	駐車場からバックで出る際などに接近してくる車両を検知してドライバーに警告し、後方の安全確認をサポートします。

新会員様ご紹介のお願い

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。

皆様からのご紹介をお願い申し上げます、
気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

郷心会の本年度のスローガン

広めよう郷心会の和

- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: nishi.tat@mazda.co.jp